

# 新年のごあいさつ



岩室村長

金子誠一

村民の皆様、新年明けましておめでとうございませう。

本年も健康で幸せな年でありませう、心からお祈り申し上げます。

さて、昨年は本村の待望でありました役場庁舎の完成をはじめ、消防庁舎の建設など各種の諸事業もお陰様で円滑に遂行させていただきました。これも偏に議会をはじめ、村民の皆様のご理解とご協力によるものと心から感謝とお礼を申し上げます。今年も新たな決意と反省の上で、活力ある岩室村の福祉向上のために、一層の努力と精進をしていきたいと思っております。しかしながら現今における社会経済情勢は、従来の甘い体質から一転して極めて厳しい現状に変わっていることは周知のとおりであります。つまり国の財政でも地方の財政を見ても、収入は減退傾向にあるにも拘らず、支出の面だけが増大するという悪循環が著しくなっております。したがって、年々財政は硬直化し、行政サービスの低下にもつながり、今後の行財政運営にも、少なからず不安と困難が予想されます。このことは、国際社会における不況からくる現象であり、ために国はあらゆる経済対策を進め、内需の拡大や活性化を図るため、最善の努力をしております。そのことを裏づけるように、五十九年度の国の予算じたいが大幅な傾向と言っても過言ではない現状であります。そのことを裏づけるように、五十九年度の国の予算じたいが大幅な抑制基調にあり、「マイナスイメージ」と極めて厳しいものとなっております。しかも減税はしても増税なしの方針が打ち出されている限り、まさに非常事態と受け止めなければなりません。といっても現在の肥大化した行財政はより一層堅持し、発展させて行かなければならないと思っております。昔から「ない袖は振れない」という名言もあります。したがって、政府、国会はこの難局の打開策として、景気の浮揚策をはじめ経費の節減を図り、一方では行政改革によって財政の好転を狙うというのが、現在の最優先課題となっていると思っております。私たちは行政改革というものに大きな関心をよせているところであり、観念的には概ね理解されるものの、具体的にはどうなのかと考えておりましたが、このほど示されたその大綱では、国と地方との適正な機能分担の下に簡素で効率的な行財政運営を実現し、全体として活力を高めることである、とされております。しかもその方向としては、地方分権化を重視すること、いわゆる市町村は直接住民と接触し、かつ総合的な行政主体であるから、市町村のあり方を中心として国と地方の関係を直視する必要があるといわれているのであります。具体的に言えば、金と権力は国が握り、実際に仕事をするのが市町村では、自主性に乏しくまた簡素化にも効率的にもならない、という趣旨

であり、いわゆる現在の市町村が三割自治であり二割自治といわれるゆえんであって、今後改革の基本的方向に従って早急に改善がされ、その裏付けとして財政措置が行われるなら初期の目的が達成されると同時に、市町村の行財政基盤が強化され発展に結びつくものと信じ、強く期待するところでありませう。しかし、この問題は一朝一夕には解決できないことではないかと考えます。当面は国、地方とも厳しい時代を覚悟しながら、節度ある行財政の運営に最善の創意工夫を凝らし努力しなければならぬ、と堅く決意しているところであります。

どうか村民の皆様も、このようなかつてない厳しい情勢をご理解いただき、より一層本村発展のためご協力をお願いするものであります。

新年にあたり所信の一端を述べ、皆様のご多幸とますますの発展を祈念いたしまして、ごあいさついたします。

# 年頭のご挨拶

岩室村議会議長



金子誠一

輝かしい新春を迎え、あけましておめでとうございませう。

昨年は国の財政の引締めが厳しくなりましたが、国県のご理解あるご指導により、岩室村のシンボルとしての新庁舎ならびに消防庁舎が立派に完成され、住民サービスの向上と福祉の増進と緊急体制が確立されたことは、誠によろこばしいかぎりでありませう。また、一日もゆるがせにできない浄水場の新設着工も、岩室村にとっては大事業であり、議会と執行が相協調しながら、ひとつひとつ着実に取り組んでまいりました次第であります。

浅学非才な私ですが、それなりに議会の円滑な運営と村民の皆様の声が村政に反映される状況づくりのため、ひいては村政伸展のために努力を続けてまいりました。国では、高度成長がもたらした行財政の改革をするために、今年度、予算をマイナス一〇割削減の指導をすることでありませうが、地方財政の危機的様相がさらに深刻化するのに反して、村民の皆様が村政に対する要望はますます高まっております。このような状況のなかで迎えた昭和五十九年は、本村にとりまして重要な年にならうかと思っております。また、任期満了に伴う議会議員の選挙も今月十五日執行され、住民代表を選ぶ重要な年でもあります。

近年人口が漸次増加しており将来、町に発展する日も近いと思っております。それに伴い今後、重要な課題が山積みしてくるものと思っております。議会といたしましては国・県に対し、その対策を強く働きかけるとともに、執行と一丸となって、財政の許す限り、最大限の行政効果をあげるための努力をすべき年であると考えております。

今年も村民の皆様にとって良い年でありませうお祈り申し上げます。年頭のごあいさついたします。